

株式会社タケエイ(東1: 2151)

2021年3月期

# 第3四半期決算 補足説明資料



(株)田村バイオマスエナジー「田村バイオマス発電所」外観(今春営業運転開始予定)

## 目次

当第3四半期決算の概況【連結】	p. 3
市場環境	p. 4
直近3事業年度における四半期決算比較【連結】【タケエイ】	p. 5-8
事業カテゴリー別売上高及び営業利益<累計>	p. 9
グループ各社の売上高及び営業利益<累計>	p. 10
事業カテゴリー別売上高及び営業利益 増減分析(前年同期比)	p. 11-12
損益動向【連結】	p. 13
粗利益増減分析(売上高・主要費用項目)【連結】	p. 14
設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数	p. 15
2021年3月期の決算見通し【連結】	p. 16
トピックス(タケエイグループの近況ご報告)	p. 17-21

# 当第3四半期決算の概況【連結】

<累計>

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	2019/12 <実績>		2020/12 <実績>		前年同期比	通期 業績予想	進捗率
	売上高比		売上高比				
売上高	27,290	—	30,251	—	+10.8%	41,000	73.8%
営業利益	2,223	8.1%	2,893	9.6%	+30.1%	3,700	78.2%
経常利益	1,981	7.3%	2,732	9.0%	+37.9%	3,450	79.2%
四半期純利益◆	1,041	3.8%	1,519	5.0%	+45.9%	1,940	78.3%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

・3Q累計で、売上高・営業利益とも過去最高

<四半期>

単位：百万円(百万円未満切捨て)

	第1四半期			第2四半期			第3四半期		
	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比	<実績>	売上高比	前年同期比
売上高	9,035	—	+7.1%	10,642	—	+14.4%	10,573	—	+10.8%
営業利益	650	7.2%	+38.2%	1,100	10.3%	+14.1%	1,143	10.8%	+44.9%
経常利益	623	6.9%	+45.2%	1,034	9.7%	+24.9%	1,075	10.2%	+48.5%
四半期純利益◆	316	3.5%	+42.9%	540	5.1%	+17.7%	663	6.3%	+83.6%

◆親会社株主に帰属する四半期純利益

・四半期比較で売上高は2Qより減少しているが、利益は増加している。

業績に影響を与えた要因

- ・櫛ヶ岳各中間処理工場の安定稼働及び原価低減策(有価物の分選別強化、廃棄物の製品化)の継続、福島県内で複数参画している東日本大震災復興プロジェクトが引き続き貢献した。
- ・東北地方の3発電事業が堅調に推移し、第2四半期より連結業績に含めた市原グリーン電力櫛が、順調に稼働している。

3

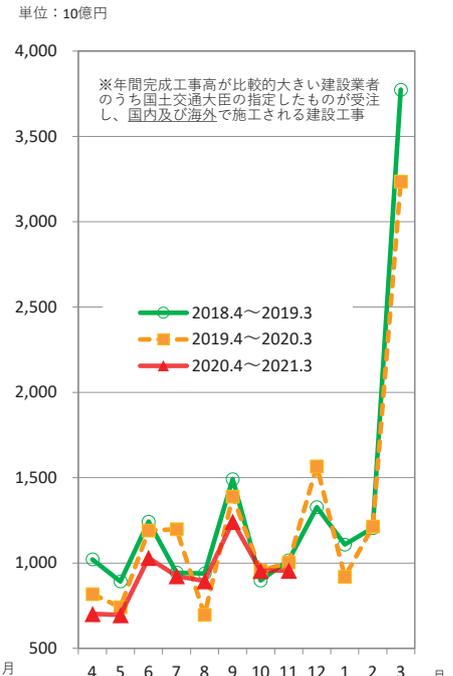
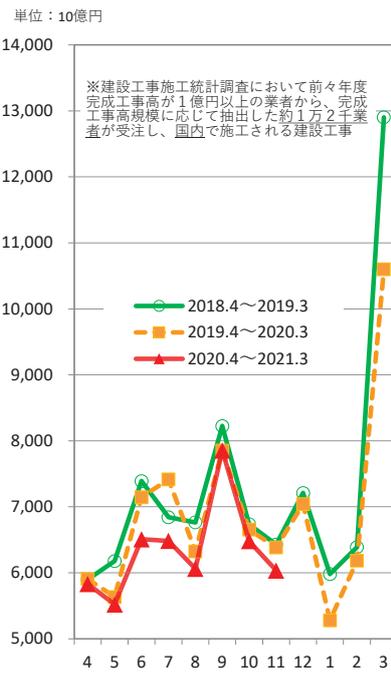
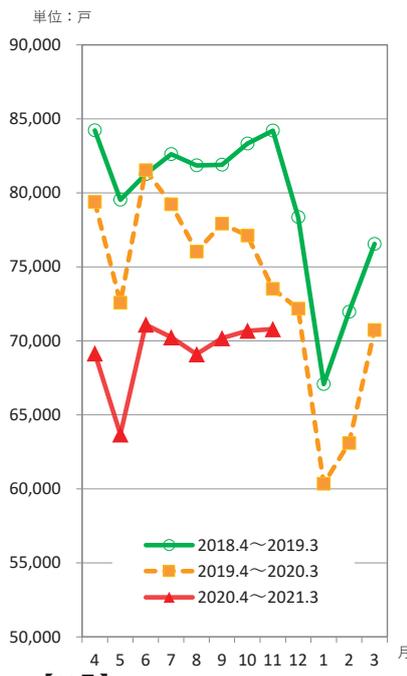
## 市場環境

(出処：国土交通省)

新設住宅着工戸数

建設工事受注

建設工事受注(大手50社)



【11月】

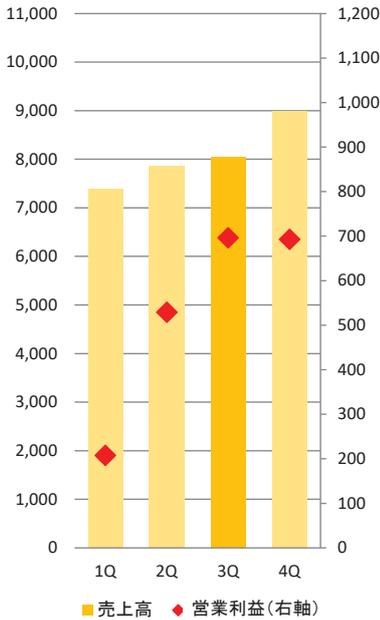
- ・「新設住宅着工戸数」は、最悪期は脱したとみられるが、本格的な持ち直しにはまだ時間を要すると思われる。
- ・「建設工事受注」は、公共機関からの受注高は増加し、民間等からの受注高のうち建築のうち建築は減少・土木は増加した。
- ・「大手50社」は、総計では前年同月比で3か月連続減少したものの、国内の公共工事・民間工事は増加した。

4

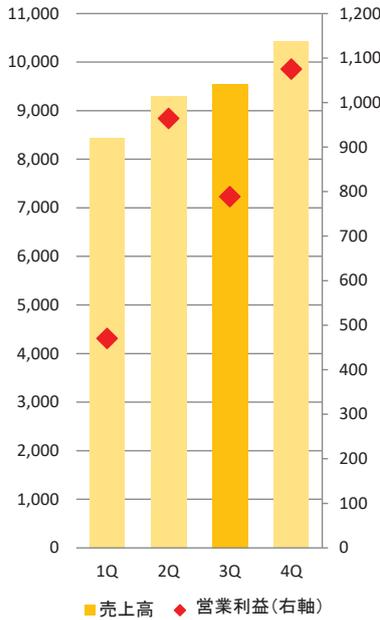
# 直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

(単位:百万円)

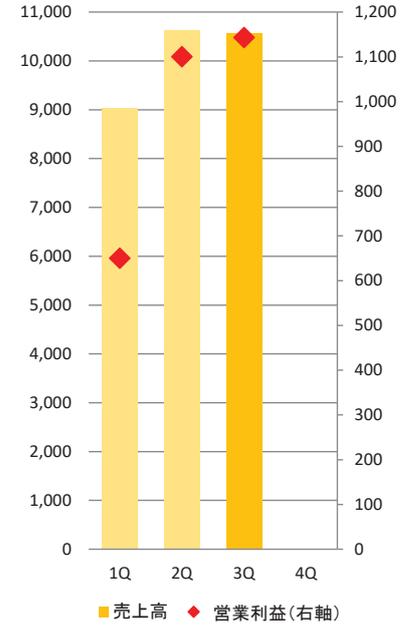
2019年3月期  
売上高・営業利益



2020年3月期  
売上高・営業利益



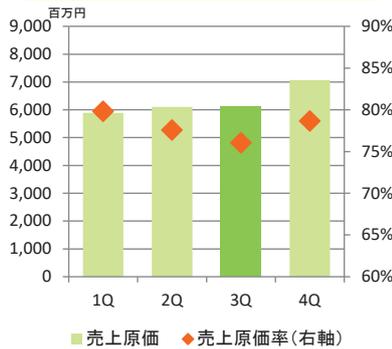
2021年3月期  
売上高・営業利益



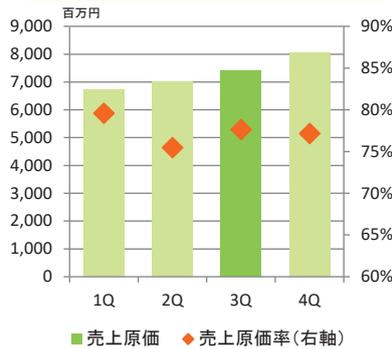
- ・売上高は、第2四半期より若干減少したものの、高位に推移している。
- ・営業利益は、タケエイにおける有価物分選別強化や各種経費削減等によって、直近3カ年で最高益となった。

# 直近3事業年度における四半期決算比較【連結】

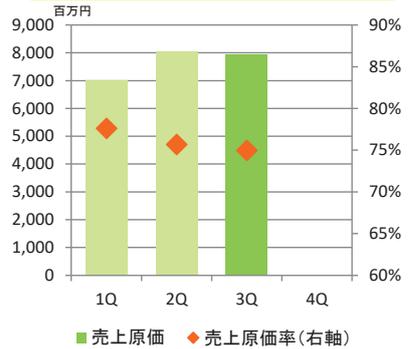
2019年3月期  
売上原価・売上原価率



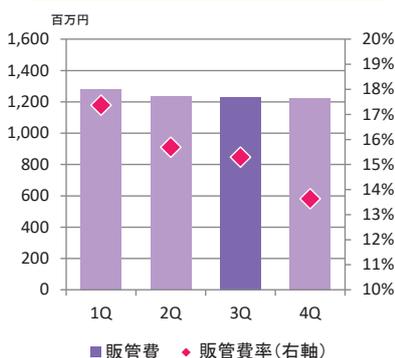
2020年3月期  
売上原価・売上原価率



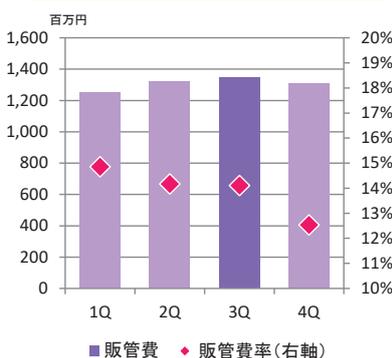
2021年3月期  
売上原価・売上原価率



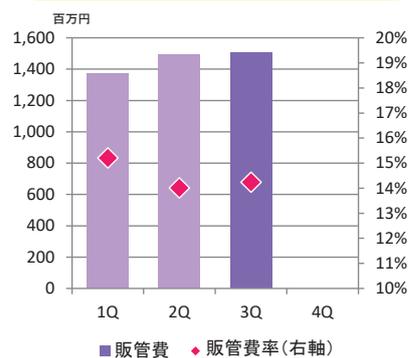
販管費・販管費率



販管費・販管費率



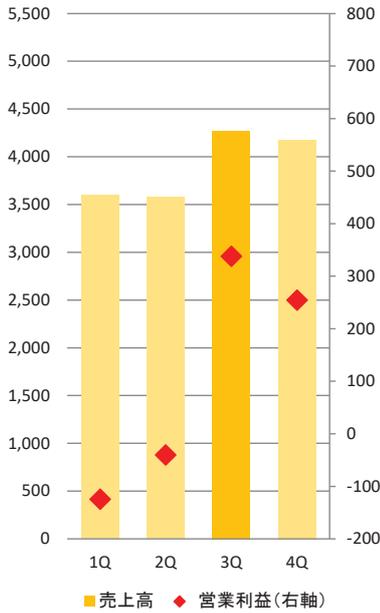
販管費・販管費率



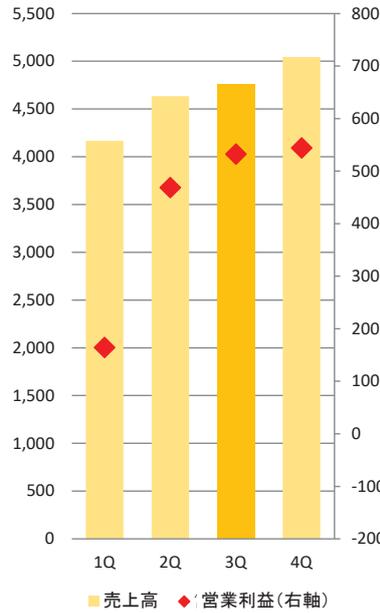
# 直近3事業年度における四半期決算比較【タケエイ】

(単位:百万円)

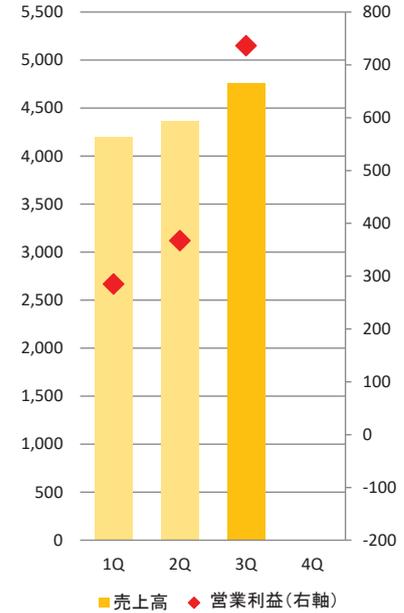
2019年3月期  
売上高・営業利益



2020年3月期  
売上高・営業利益



2021年3月期  
売上高・営業利益



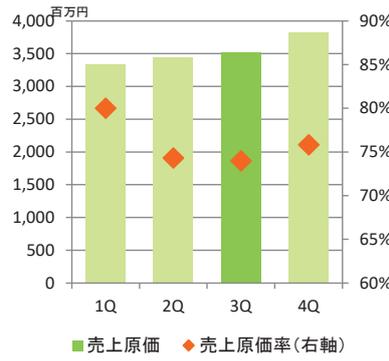
・売上高は、コロナ禍で建設系産業廃棄物の搬入が減少したことにより、前年同期比では減少したものの、高位に推移している。  
 ・営業利益は、中間処理工場(リサイクルセンター)での原価低減策が一層進み、直近3カ年で最高益となった。

# 直近3事業年度における四半期決算比較【タケエイ】

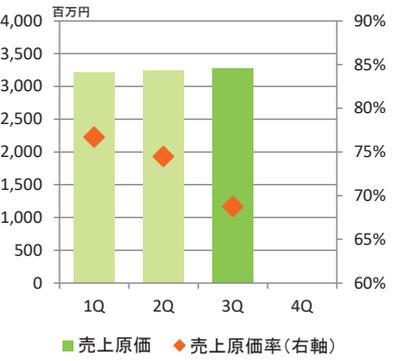
2019年3月期  
売上原価・売上原価率



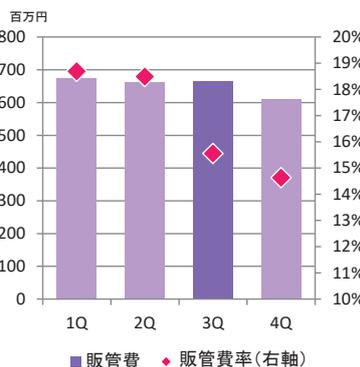
2020年3月期  
売上原価・売上原価率



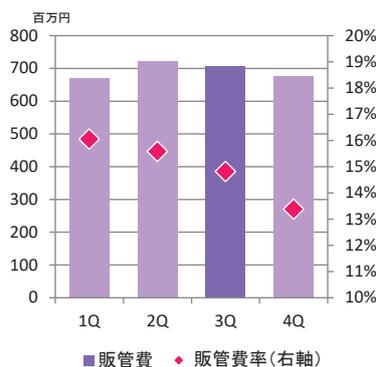
2021年3月期  
売上原価・売上原価率



販管費・販管费率



販管費・販管费率



販管費・販管费率



# 事業カテゴリー別売上高及び営業利益<累計>

単位：百万円

	売上高			営業利益			営業利益率	
	2019/12	2020/12	前年同期比	2019/12	2020/12	前年同期比	2019/12	2020/12
連結	27,290	30,251	+10.8%	2,223	2,893	+30.1%	8.1%	9.6%
<廃棄物処理・リサイクル事業>	18,790	18,751	-0.2%	1,844	2,235	+21.2%	9.8%	11.9%
(株)タケエイ	13,560	13,334	-1.7%	1,165	1,389	+19.2%	8.6%	10.4%
<マテリアル&ランドフィル>	5,230	5,417	+3.6%	679	846	+24.7%	13.0%	15.6%
<再生可能エネルギー事業>	5,608	9,119	+62.6%	252	616	+144.8%	4.5%	6.8%
<環境エンジニアリング事業>	3,858	3,865	+0.2%	38	173	+355.4%	1.0%	4.5%
<環境コンサルティング事業>	961	898	-6.6%	79	82	+3.2%	8.3%	9.1%
連結消去	-1,926	-2,381		11	-213			

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

注1： 事業カテゴリー別の数値は、グループ各社の連結消去前売上高、営業利益を単純合算。

<再生可能エネルギー事業>市原グリーン電力(株)のれん償却は 163、(株)タケエイグリーンリサイクルのれん償却は 29であり、のれん償却後の営業利益は、423となる。なお、のれん償却額は、連結消去 -213に含まれる。

注2： 公表日時点で監査未了

注3： 当期第1四半期より、(株)タケエイグリーンリサイクルは<マテリアル&ランドフィル>から<再生可能エネルギー事業>にカテゴリー変更。

注4： 当期第2四半期より連結業績に含めた市原グリーン電力(株)は<再生可能エネルギー事業>に追加

# グループ各社の売上高及び営業利益<累計>

単位:百万円

会社名	売上高			営業利益			営業利益率		主な業務
	2019/12	2020/12	前年同期比	2019/12	2020/12	前年同期比	2019/12	2020/12	
連結	27,290	30,251	+10.8%	2,223	2,893	+30.1%	8.1%	9.6%	
＜廃棄物処理・リサイクル事業＞									
㈱タケエイ	13,560	13,334	-1.7%	1,165	1,389	+19.2%	8.6%	10.4%	建設廃棄物等の収集運搬・中間処理・再資源化・最終処分
㈱池田商店	473	450	-4.9%	104	92	-11.7%	22.0%	20.4%	再生骨材・再生砕石への再資源化
㈱ギプロ	570	419	-26.4%	208	124	-40.3%	36.4%	29.5%	石膏ボードの再資源化
㈱グリーンアローズ関東	245	281	+14.9%	-62	-25	—	—	—	同上
㈱グリーンアローズ東北	175	189	+8.3%	-22	-2	—	—	—	同上
㈱タケエイメタル	694	273	-60.7%	26	-10	—	3.8%	—	鉄・非鉄スクラップの再資源化
東北交貿㈱	165	217	+31.5%	18	4	-76.7%	11.0%	2.0%	汚泥・燃えがら・ばいじん類・鉱さい等由来の再生砕石製造(再資源化)
イコールゼロ㈱	1,137	1,386	+21.9%	91	237	+160.3%	8.0%	17.1%	廃液処理・有害産業廃棄物処理・再資源化
＜ランドフィル＞									
㈱北陸環境サービス	798	1,128	+41.3%	268	371	+38.6%	33.6%	32.9%	管理型最終処分場の運営・廃プラスチックの再資源化
㈱信州タケエイ	892	975	+9.3%	59	62	+4.1%	6.7%	6.3%	産業廃棄物・一般廃棄物の収集運搬・中間処理・再資源化・解体等
㈱タケエイエナジー&パーク	82	98	+20.0%	12	14	+15.3%	14.6%	14.0%	最終処分場の跡地利用(パークゴルフ場運営・太陽光発電)
㈱門前クリーンパーク	—	—	—	-23	-21	—	—	—	管理型最終処分場<事業準備会社>
＜再生可能エネルギー事業＞									
市原グリーン電力㈱	—	2,470	—	—	① 502	—	—	20.3%	木質バイオマス発電 ※当期第2四半期より連結業績に含めた
㈱津軽バイオマスエナジー	1,148	1,201	+4.6%	133	86	-35.2%	11.5%	7.2%	木質バイオマス発電
㈱津軽あつぷるパワー	183	113	-38.2%	22	17	-22.8%	12.0%	14.9%	小売電気事業
㈱花巻バイオマスエナジー	1,061	1,062	+0.1%	79	77	-2.8%	7.5%	7.2%	木質バイオマス発電
花巻バイオチップ㈱	473	494	+4.5%	19	8	-54.6%	3.9%	1.7%	木質バイオマス発電用燃料の製造・供給
㈱花巻銀河パワー	263	237	-9.8%	41	42	+2.8%	15.6%	17.7%	小売電気事業
㈱田村バイオマスエナジー	—	—	—	-40	-79	—	—	—	木質バイオマス発電<事業準備会社> ※今春営業運転開始予定
㈱タケエイグリーンリサイクル	578	1,320	+128.5%	24	② -222	—	4.1%	—	木質バイオマス発電・生木等の再生資源化・再生エネルギー原料化
㈱横須賀バイオマスエナジー	103	107	+3.6%	-150	-26	—	—	—	木質バイオマス発電 ※2020年5月1日付で吸収合併により消滅
㈱横須賀アーバンウッドパワー	67	385	+474.6%	6	55	+833.0%	8.7%	14.2%	小売電気事業
㈱大仙バイオマスエナジー	1,219	1,216	-0.2%	87	75	-14.3%	7.2%	6.2%	木質バイオマス発電
㈱大仙こまちパワー	513	475	-7.4%	32	83	+164.2%	6.2%	17.6%	小売電気事業
㈱ふくしま未来パワー	—	—	—	—	※※ -0.1	—	—	—	小売電気事業<事業準備会社> ※2020年6月11日設立・今春営業開始予定
㈱津軽エネビジ	—	13	—	—	-4	—	—	—	農作物の生産・販売 ※2020年4月1日より連結子会社化
㈱タケエイ林業	—	26	—	—	2	—	—	9.5%	山林の経営・管理・保全、バイオマス原料の生産・販売等 ※2020年5月1日設立
㈱T・Vエナジーホールディングス	—	—	—	※※ -0.3	※※ -0.3	—	—	—	再生可能エネルギー事業への投融資・運営
＜環境エンジニアリング事業＞									
富士車輛㈱	3,858	3,865	+0.2%	38	173	+355.4%	1.0%	4.5%	環境プラント・車輛等の開発・製造・販売
＜環境コンサルティング事業＞									
環境保全㈱	506	569	+12.5%	28	58	+106.4%	5.6%	10.2%	環境計量証明事業、環境コンサルティング
㈱アースアプレイザル	455	329	-27.8%	51	24	-53.6%	11.2%	7.2%	環境コンサルティング
連結消去	-1,926	-2,381	—	11	-213	—	—	—	※少額のため小数点以下も表示

※百万円未満 四捨五入(連結数値のみ切捨て)

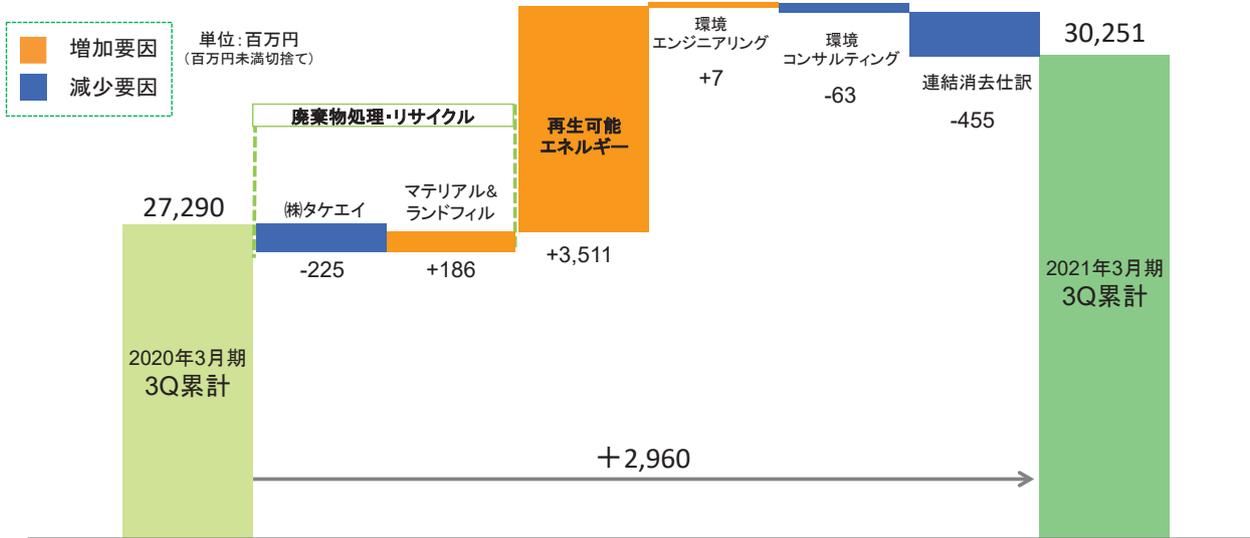
①市原グリーン電力㈱は、当期第2四半期より連結業績に含めた。のれん償却後の営業利益は339。

②㈱タケエイグリーンリサイクルの当期売上高・営業利益には、5月以降は売電部門の業績も含む。のれん償却後の営業利益は、-251。

また、㈱横須賀バイオマスエナジーの当期売上高・営業利益は、2020年4月の1か月分のみ。

# 事業カテゴリー別売上高 増減分析（前年同期比）

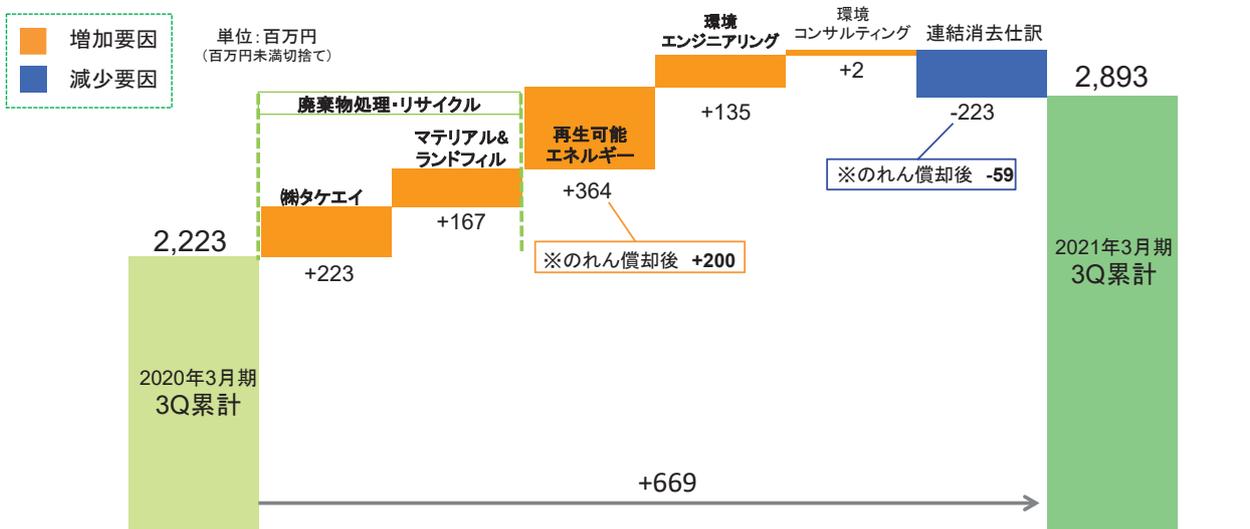
- ㈱タケエイ** 復興PJや中間処理工場での有価物採取強化・廃棄物製品化が寄与したものの、産廃受入量が減少。
- マテリアル&ランドフィル** ㈱タケイメタルはスクラップ価格の低調やコロナ禍による営業活動制約等により減収。イールゼロ㈱は引き続き災害廃棄物処理支援が寄与（2019年の台風19号）。㈱北陸環境サービスは搬入順調、スポット案件も寄与。
- 再生可能エネルギー** 市原グリーン電力㈱が順調に稼働。東北地方の3発電所も堅調。
- 環境エンジニアリング** (富士車輛㈱1社) コロナ禍による営業活動制約の中でも、環境部門において複数案件が順調に進捗。
- 環境コンサルティング** 環境保全㈱はアスベスト分析及び土壌調査分析事業が堅調。㈱アースアプライザルはコロナ禍による営業活動制約により減収。



(注)1: 数値は、グループ各社の連結消去前売上高の増減を単純合算。  
 (注)2: 当期第2四半期より連結業績に含めた市原グリーン電力㈱は「再生可能エネルギー事業」に追加。  
 また当期第1四半期より、㈱タケエイグリーンリサイクルが「廃棄物処理・リサイクル」から「再生可能エネルギー」に事業カテゴリー変更。

# 事業カテゴリー別営業利益 増減分析（前年同期比）

- ㈱タケエイ** 福島県での復興PJや、中間処理工場における有価物採取強化・廃棄物製品化による原価低減策が寄与。
- マテリアル&ランドフィル** イールゼロ㈱は引き続き災害廃棄物処理支援が寄与（2019年の台風19号）。㈱北陸環境サービスは搬入順調。
- 再生可能エネルギー** 市原グリーン電力㈱が順調に稼働。電力卸価格高騰は、小売電気事業の㈱大仙こまちパワー・㈱横須賀アークアウトパワーに影響。
- 環境エンジニアリング** (富士車輛㈱1社) コロナ禍による営業活動制約の中で、複数案件が順調に進捗し、継続した経費削減も奏功。
- 環境コンサルティング** コロナ禍により営業活動に制約受けつつも、環境保全㈱はアスベスト分析や土壌調査分析事業が堅調。



(注)1: 数値は、グループ各社の連結消去前営業利益の増減を単純合算。  
 (注)2: 当期第2四半期より連結業績に含めた市原グリーン電力㈱を「再生可能エネルギー事業」に追加。  
 また当期第1四半期より、㈱タケエイグリーンリサイクルが「廃棄物処理・リサイクル」から「再生可能エネルギー」に事業カテゴリー変更。

# 損益動向【連結】

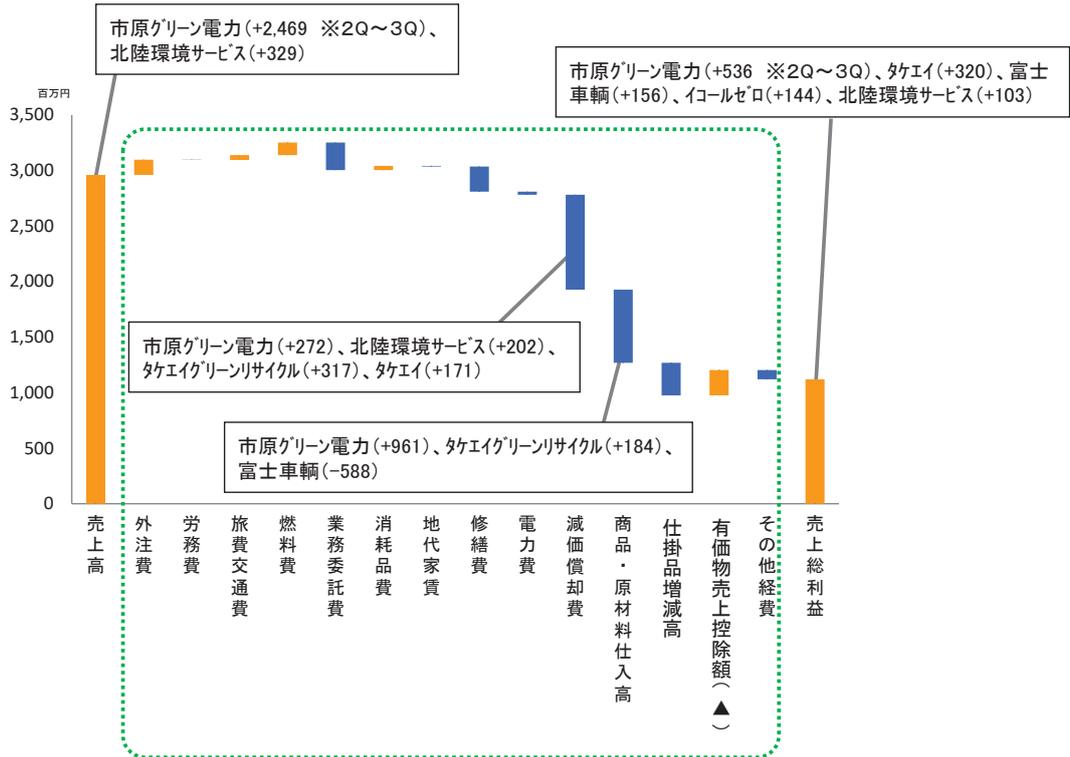
単位:百万円

	2020/12			第1四半期			第2四半期			第3四半期		
	<累計>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比	<四半期>	売上高比	前年同期比
売上高	30,251	100.0%	+10.8%	9,035	100.0%	+7.1%	10,643	100.0%	+14.4%	10,573	100.0%	+10.8%
売上原価	22,989	76.0%	+8.7%	7,012	77.6%	+4.4%	8,052	75.7%	+14.7%	7,925	75.0%	+6.9%
(うち) 外注費	6,702	22.2%	-2.0%	2,091	23.1%	+0.4%	2,254	21.2%	-2.1%	2,357	22.3%	-3.9%
労務費	4,742	15.7%	+0.0%	1,496	16.6%	-5.2%	1,602	15.1%	+2.7%	1,644	15.5%	+2.6%
経費	13,099	43.3%	+19.0%	3,872	42.9%	+10.0%	4,686	44.0%	+29.8%	4,541	43.0%	+17.1%
(うち) 旅費交通費	377	1.2%	-10.4%	114	1.3%	-15.8%	129	1.2%	-9.8%	134	1.3%	-5.8%
燃料費	441	1.5%	-20.4%	133	1.5%	-27.0%	148	1.4%	-17.8%	160	1.5%	-16.6%
業務委託費	807	2.7%	+44.2%	277	3.1%	+72.0%	303	2.8%	+74.4%	227	2.1%	+1.0%
消耗品費	589	1.9%	-6.1%	193	2.1%	-8.0%	188	1.8%	-8.5%	208	2.0%	-1.8%
地代家賃	195	0.6%	+6.3%	63	0.7%	-1.0%	61	0.6%	+1.1%	71	0.7%	+19.4%
リース料	251	0.8%	-2.6%	80	0.9%	-10.7%	104	1.0%	+24.3%	66	0.6%	-20.7%
修繕費	1,234	4.1%	+22.4%	341	3.8%	+4.6%	362	3.4%	+28.1%	531	5.0%	+33.0%
電力費	343	1.1%	+8.8%	54	0.6%	-45.3%	173	1.6%	+49.6%	117	1.1%	+14.4%
減価償却費	2,889	9.5%	+41.7%	820	9.1%	+34.9%	975	9.2%	+55.3%	1,094	10.3%	+36.2%
商品・原材料仕入高	4,893	16.2%	+15.5%	1,459	16.1%	+5.0%	1,873	17.6%	+22.7%	1,561	14.8%	+18.3%
仕掛品増減高	-182	-0.6%	—	-200	-2.2%	—	58	0.5%	—	-40	-0.4%	—
他勘定振替高	-835	-2.8%	—	-118	-1.3%	—	-384	-3.6%	—	-332	-3.1%	—
有価物売上控除額(▲)	-533	-1.8%	+74.0%	-132	-1.5%	+22.9%	-166	-1.6%	+75.1%	-235	-2.2%	+125.7%
売上総利益	7,263	24.0%	+18.2%	2,023	22.4%	+17.4%	2,591	24.3%	+13.5%	2,648	25.0%	+24.1%
販売費及び一般管理費	4,369	14.4%	+11.5%	1,373	15.2%	+9.6%	1,490	14.0%	+13.0%	1,505	14.2%	+11.8%
人件費	2,593	8.6%	+8.1%	828	9.2%	+9.2%	888	8.3%	+6.5%	877	8.3%	+8.7%
その他経費	1,776	5.9%	+16.9%	545	6.0%	+10.1%	603	5.7%	+24.3%	628	5.9%	+16.5%
(うち) のれん償却	200	0.7%	+449.3%	12	0.1%	+0.0%	94	0.9%	+673.9%	94	0.9%	+673.9%
営業利益	2,893	9.6%	+30.1%	650	7.2%	+38.2%	1,100	10.3%	+14.1%	1,143	10.8%	+44.9%
営業外収益	115	0.4%	+33.5%	47	0.5%	+44.9%	37	0.4%	-3.6%	30	0.3%	+106.5%
(うち) 持分法による投資利益	18	0.1%	+33.6%	11	0.1%	-3.1%	1	0.0%	-72.1%	6	0.1%	—
営業外費用	276	0.9%	-16.1%	75	0.8%	+0.8%	104	1.0%	-41.1%	98	0.9%	+23.6%
(うち) 支払利息	159	0.5%	+23.9%	46	0.5%	+7.5%	47	0.4%	+12.6%	67	0.6%	+50.1%
経常利益	2,733	9.0%	+37.9%	623	6.9%	+45.2%	1,034	9.7%	+24.9%	1,076	10.2%	+48.5%
特別利益	35	0.1%	-82.2%	5	0.1%	-61.5%	17	0.2%	+49.0%	14	0.1%	-92.1%
特別損失	4	0.0%	-98.6%	—	—	—	0	0.0%	-100.0%	4	0.0%	-98.5%
税金等調整前四半期純利益	2,764	9.1%	+48.2%	628	6.9%	+42.6%	1,051	9.9%	+28.3%	1,085	10.3%	+79.4%
法人税等	1,115	3.7%	+46.3%	273	3.0%	+53.8%	426	4.0%	+42.5%	416	3.9%	+45.7%
非支配株主に帰属する四半期純利益	130	0.4%	+111.1%	39	0.4%	-6.8%	85	0.8%	+37.9%	6	0.1%	-114.5%
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,520	5.0%	+45.9%	316	3.5%	+42.9%	540	5.1%	+17.7%	663	6.3%	+83.6%

※百万円未満 四捨五入

# 粗利益増減分析（売上高・主要費用項目）【連結】

■ 増加要因  
■ 減少要因



# 設備投資・減価償却費、従業員数・車両台数

<設備投資・減価償却費>

<従業員数・車両台数>

単位: 百万円

	2020年3月期 (3Q累計)	2021年3月期 (3Q累計)	2020年3月期 (通期)	2021年3月期 (通期)※予想
設備投資	5,445	4,017	9,109	9,849
連結				
(うち ㈱タケイ)	906	1,431	1,525	2,537
減価償却費				
連結	2,234	3,048	3,175	4,070
(うち ㈱タケイ)	887	1,039	1,255	1,550
のれん償却	36	200	49	294

※百万円未満 四捨五入

	2020/6末	2020/9末	2020/12末
期末従業員数(人)			
連結	1,317	1,359	1,355
(うち ㈱タケイ)	624	624	625
収集運搬車両(台) 単体	301	308	304
内、復興PJでの使用台数	34	38	38



復興プロジェクト現場のニーズに応じた特装車両が活躍しています (p. 17-18もご参照下さい)

**主な設備投資 2021年3月期 3Q実績**

㈱タケイ	設備・車両更新、大木戸処分場拡大など	14.3億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	16.7億円
㈱大仙バイオマスエナジー	破碎設備設置	2.2億円
㈱タケイグリーンリサイクル	破碎設備設置	2.0億円

**主な設備投資 2021年3月期 計画**

㈱タケイ	設備・車両更新、処分場拡大など	25億円
㈱門前クリーンパーク	処分場造成工事	26億円
㈱タケイグリーンリサイクル	新工場建設、設備更新	2億円
㈱田村バイオマスエナジー	発電施設整備	22億円

単位: 百万円

	2020/3 ＜実績＞		2021/3 ＜予想＞			3Q累計	
		売上高比		売上高比	前年同期比	＜実績＞	前年同期比
売上高	37,713	—	41,000	—	+8.7%	30,251	+10.8%
営業利益	3,298	8.7%	3,700	9.0%	+12.2%	2,893	+30.1%
経常利益	3,025	8.0%	3,450	8.4%	+14.0%	2,732	+37.9%
当期純利益 ◆	1,765	4.7%	1,940	4.7%	+9.9%	1,519	+45.9%

◆親会社株主に帰属する当期純利益（百万円未満切捨て）

・2020年10月30日に公表した通期連結業績予想からの修正はありません。

＜今後想定される変動要因＞

- ・(株)タケエイグリーンリサイクル 横須賀バイオマス発電所（旧：(株)横須賀バイオマスエナジー）の安定稼働
- ・(株)田村バイオマスエナジーの営業運転開始（今春より営業運転開始予定）
- ・電力卸価格の推移（小売電気事業のうち、(株)大仙こまちパワー・(株)横須賀アーバンウッドパワーが影響を受ける）
- ・新型コロナウイルス感染症による影響が長引く恐れ（影響が及ぶまでに時間差が発生する）
- ・天候による搬入制限や発電所等の稼働制限など

## 【トピックス】東日本大震災復興プロジェクト①

安達地方における農林業系廃棄物等処理業務(減容化処理)〔一次請〕 ※2019年6月より本格稼働、2021年11月末終了予定

二本松市内に建設された仮設焼却施設へ、二本松市、本宮市及び大玉村の3市村に保管されている農林業系廃棄物、可燃性除染廃棄物を収集運搬する業務及びその受入・前処理業務

農林業系廃棄物とは

原発事故により放射性物質に汚染され一時保管されている、稲わら、牧草、堆肥、ほだ木など

浪江町対策地域内廃棄物等処理業務(減容化処理)〔一次請〕 ※2020年2月より本格稼働、2021年7月末終了予定

浪江町仮設焼却施設において「可燃性除染廃棄物、津波廃棄物、片づけごみ及び家屋解体廃棄物など」を減容化処理した際に生じた焼却灰及びばいじんを、地盤改良用収容容器に封入する業務



安達地方における農林業系廃棄物等処理業務(減容化処理) 仮設焼却施設への搬入時の様子



浪江町対策地域内廃棄物等処理業務(減容化処理) 現場での充填作業の様子

## 平成30年度から平成32年度までの双葉町減容化施設（中間貯蔵施設）における廃棄物処理その1業務

〔受注者名：新日鉄・クボタ・大林・TPT 特定共同企業体〕

焼却開始日：令和2年3月（※1）  
（※1：環境省HPより引用）

- 双葉町仮設焼却第一施設及び双葉町仮設灰処理第一施設へ「災害廃棄物、片付けごみ、除染廃棄物、その他」を収集運搬する業務
- 双葉町仮設焼却第一施設及び双葉町仮設灰処理第一施設にて無害化された生成物を運搬する業務

中間貯蔵施設とは、福島県内の除染に伴い発生した土壌や廃棄物等を、最終処分までの間、安全に集中的に貯蔵する施設。東京電力福島第一原子力発電所を取り囲む形で、双葉町・大熊町に整備される。

出典：環境省 中間貯蔵施設情報サイト

上記は、令和3年1月時点での引用記載であり、詳細は環境省HPを参照ください。

[http://shiteihaiki.env.go.jp/initiatives\\_fukushima/waste\\_disposal/futaba/processing\\_futaba01.html](http://shiteihaiki.env.go.jp/initiatives_fukushima/waste_disposal/futaba/processing_futaba01.html)



写真：荷台が大きく開く他、全ての操作を運転席で行える特注の灰処理対象物運搬車両（双葉町仮設処理第一施設で稼働中）

東日本大震災の発生から、まもなく10年を迎えます。  
タケエイグループは、蓄積した災害廃棄物処理支援のノウハウを遺憾なく発揮し、被災地の復旧・復興にこれからも貢献いたします。

# 【トピックス】廃棄物からのモノづくり

〔㈱タケエイ 東京リサイクルセンター〕

廃棄物には大量に塵（ダスト）が含まれており、中間処理工場に搬入され、分別の過程を経るうちに空気中に飛散します。この飛散するダストを、主要な発生源となる位置に集塵システムを重点配置するなどして工場内の環境を保つことに加え、集めたダストを資源として再利用することにも取り組んでいます。その一環が、製鉄副資材『エコ・フォーム®』製造です。  
※2009年特許取得済

東京リサイクルセンターでは、このダストを活用してエコ・フォーム®を2009年から製造して参りました。この度、エコ・フォーム®の「成型機」をもう1台増やし、生産能力を2倍に増強いたしました。



増設した「エコ・フォーム®」成型機



製鉄副資材「エコ・フォーム®」

2019年度の生産量  
**5,714 t**（月間約500 t）  
※CSR報告書2020 p. 14 掲載



**倍増！**

大手鉄鋼業者各社に  
出荷しています

製鉄副資材＝製鉄工程の「転炉」における添加材(フォーミング抑制材)

鉄鉱石を溶かす高炉から送られてきた鉄銹を鋼に転換する“転炉”に移す際、転炉の窯の下から酸素を吹き込む工程において、吹き込まれる酸素によって窯上部のスラグ（鉱さい）が発泡・膨張してしまうため、スラグの表面張力を低下させて発泡を防ぎ、質の高い鉄になるのを助けるために使われる

タケエイはこれから『製造業』としての機能を強化していきます。  
既存の技術をさらに磨き上げると同時に、新たな製造技術の開発にも取り組んでおります。

# 【トピックス】 廃棄物の減容化や分選別強化の事例

## 〔株）タケエイ 川崎リサイクルセンター〕

コロナ禍によって産業廃棄物の搬入量が一時的に減少したことを活かし、分選別を強化した結果、有価物の採取量が増加し、廃棄物の一層の減容化（体積を減らすこと）に成功しました。また、分別の精度が向上したことによってリサイクル品の質も改善し、原価率の低減も実現しました。

### 例① 減容化：廃プラスチックや紙くずからRPF（廃プラスチック等固化燃料）を製造



### 例② 分選別強化：金属くず



現場作業員の分選別の技量が習熟し、搬入量が戻りつつある現在でも引き続き減容化・分選別に注力できています。他のリサイクルセンターにも水平展開しており、事業本部一丸となって原価率低減を推進していきます。

# 【トピックス】 (株) 門前クリーンパーク / (株) 信州タケエイ

## (株) 門前クリーンパーク

『門前最終処分場(仮称)』第1期建設工事 進捗  
計3期・約48年に渡って埋立可能な、管理型最終処分場です。

航空写真(2020年12月)



防災調整池付近の造成工事

残土仮置場の造成工事



引き続き環境に配慮し、安全に工事を実施いたします。

## (株) 信州タケエイ

『諏訪湖アダプトプログラム』継続参加

アダプト(adopt) = 英語で「養子にする」



諏訪湖というかけがえのない財産を守るため  
“里親”となって美化活動に取り組むプログラムへ、  
(株) 信州タケエイは社員一丸となって参加しています。